

⑧ ハミング

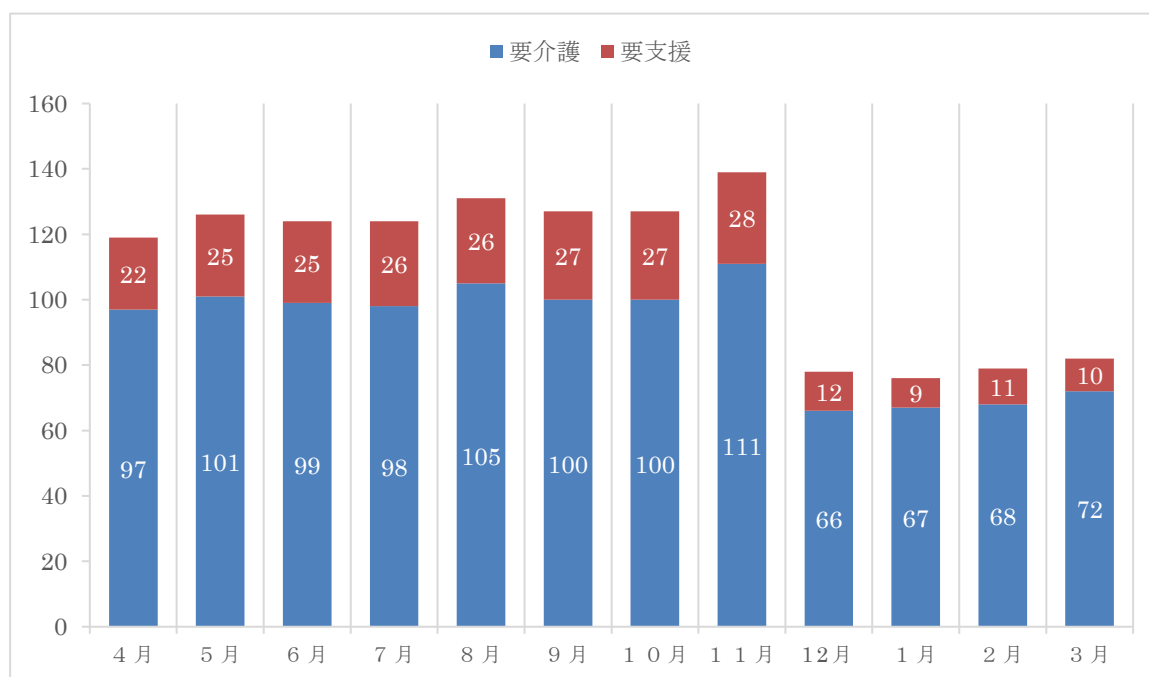
<目 次>

1. はじめに
2. 実利用者数（ケアプラン作成件数）
3. 性別・年齢別利用者状況
4. 要介護度別利用者状況
5. サービス種類別利用者状況
6. 実施地域別一覧
7. 新規相談・利用者受け入れ状況
8. 研修会参加状況
9. まとめ

1. はじめに

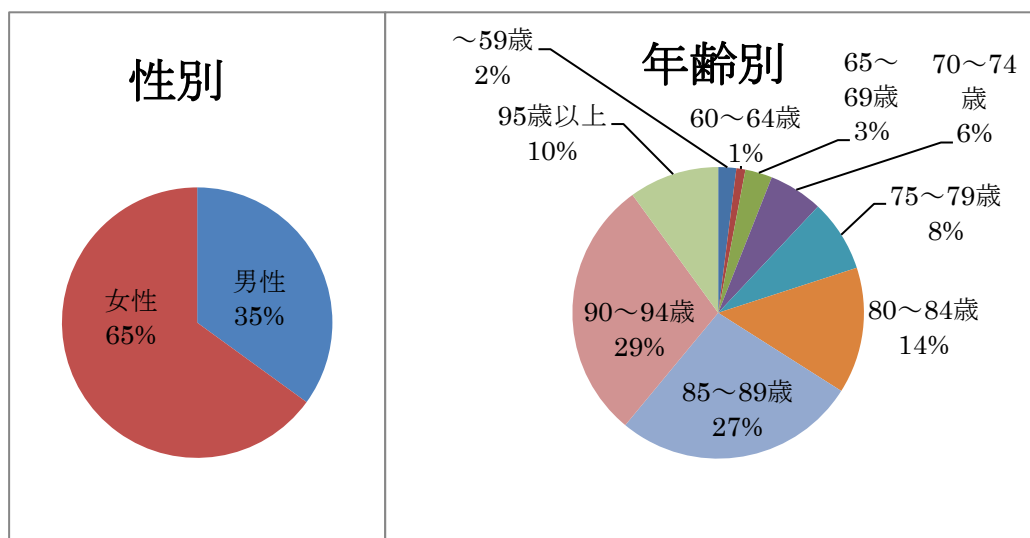
居宅介護支援事業所ハミングは、平成24年2月1日に開所し、平成27年12月1日には、開所したデイサービスセンター和音の併設となり、7年3ヶ月経過しました。鹿沼市西地域(粕尾地区、永野地区)に居宅支援事業所を設置したことで、相談件数が増え、本会の事業所へのサービス調整等を行う事ができています。かすお・ながのの2ヶ所のデイサービスは実績を積んでおり、また併設の和音デイサービスは、土曜日にも営業しているので、事業所の選択も出来るようになりました。H28年10月には、訪問介護めぐりも開所し、在宅での生活が継続できるように、また在宅でも介護が受けられるよう、サービスの提案が出来るようになりました。特別養護老人ホームポプリと併設している短期入所生活介護事業所も、介護者の負担軽減につながり「ポプリなら安心できる」と入所希望する家族様も増えていきます。地域の在宅介護におけるサービスの基盤の確立が進んでいます。小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護かのんも、在宅介護における対応の幅も広い為、居宅介護支援計画(ケアプラン)を立てる際の選択肢が増え、利用に際しては連絡調整がスムーズであり強みです。

2. 実利用者数 (ケアプラン作成件数)



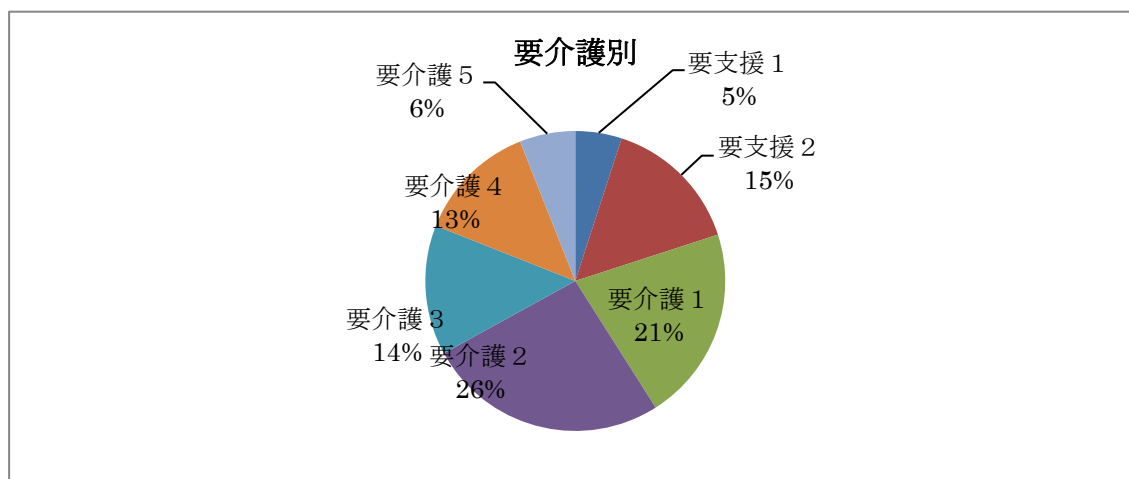
H30年度5月からは3体制になり、12月には、居宅介護支援事業所かのんへ異動の為、2名体制になりました。祝日や土曜日の訪問も多くなりました。1件1件を大切に、適切な対応を心がけておりますので、業務負担が重くならないよう、一人あたり35件を目標に支援を行っています。

3. 性別・年齢別利用者状況



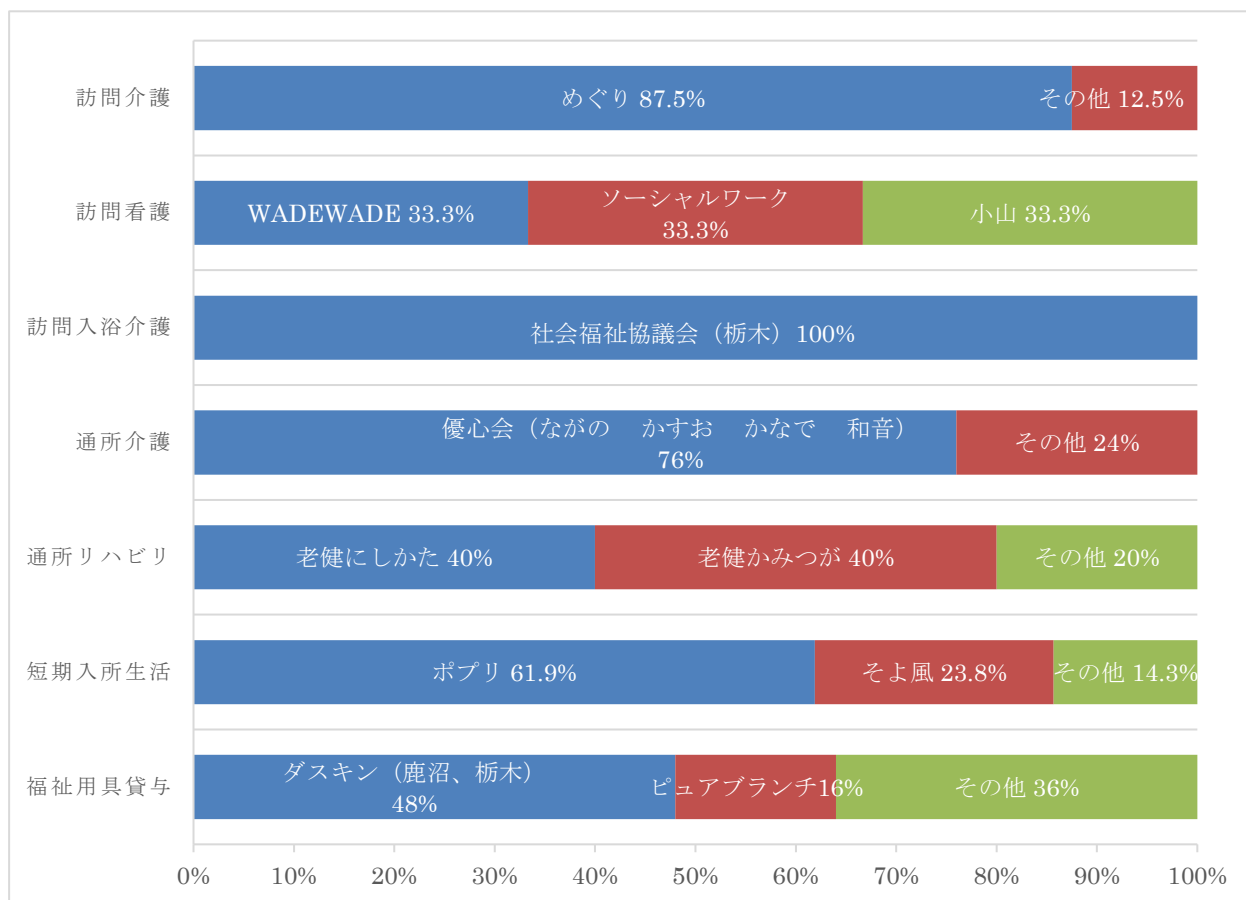
昨年、同様、女性利用者が多く、半数は85歳以上の方であり、高齢化がすすんでいる状況です。一人暮らしの方や高齢者世帯が増えており、家族と同居されている方でも、主介護者が、60~70歳代の方も多く、老々介護が多く見られています。介護負担から虐待が発生することもあるので、別居されている家族との連絡を密にし、また民生委員、近隣の方の協力もお願いしています。

4. 要介護別利用者状況



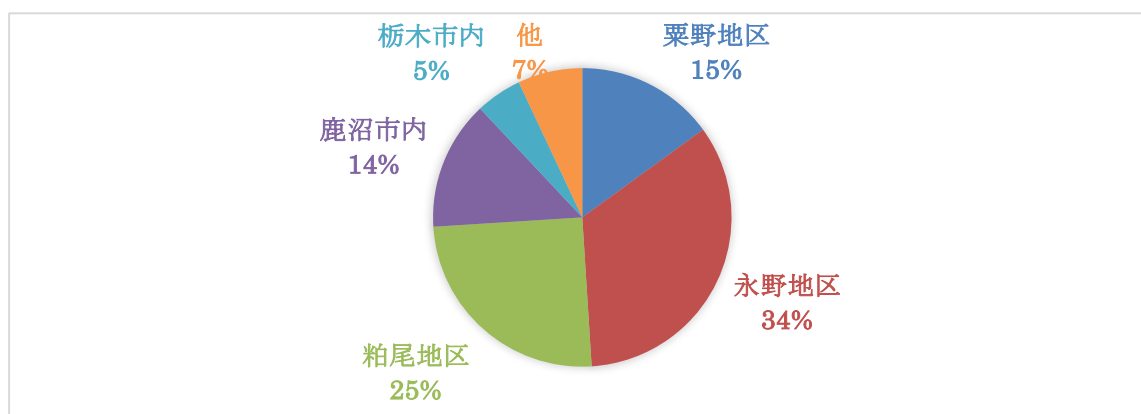
要介護認定が厳しくなっているので、軽度化傾向が見られます。認知症の方、身体介護が必要な方へサービスを導入しても、介護者の身体的、精神的な負担は大きいです。H27年度から、特別養護老人ホームへの入居が要介護3以上となりました。本人、家族の気持ちを踏まえ、入所申込みをすすめています。

5. サービス種別事業所割合



H27年度より、給付管理の対象になるサービスに対して、特定の事業所への偏りの割合が80%超えると減算になりました。「ハミング」は特別地域加算が適応になっており、特定事業所集中減算の対象外です。同法人のデイサービス利用率は76%、短期入所ポプリの利用率は、61.9%、訪問介護めぐりの利用率は87.5%となっております。

6. 実地地域別一覧



鹿沼市以外も、栃木市、宇都宮市、日光市（旧今市市）小山市、上三川町、住所地特例施設入所されている方は、以前の保険者の為、墨田区、葛飾区も対応しております。昨年に比べて、栃木市など他市町の方も増えました。

7. 新規相談・利用者受け入れ状況

相談経路	人数（名）
鹿沼西地域包括支援センター	20
家族・近隣の方から相談	12
他事業所からの紹介	11
優心会職員からの紹介	3
鹿沼中央地域包括支援センター	1
佐野地域包括支援センター	1
藤沢医院	1
民生委員からの相談	1
新上三川病院	1
かのん	1
寺尾地区地域包括支援センター	1
計	53

H29年度は、71件。H30年度は53件の新規依頼がありました。1名増員したことで、他市町からの依頼が急増しました。家族や近隣の方から紹介も増えており、訪問中に相談を受けることもありました。

8. 研修会参加状況

H30.4.14	高齢者の消費者問題について
H30.6.11	鹿沼市ケアマネジメント研修会
H30.6.15	嚥下調整食の理解を深め、安全な食支援を学ぶ
H30.7.18	在宅医療における薬剤師の役割
H30.7.19	スーパービジョン研修会
H31.1.17	〃
H30.8.17	主任ケアマネジャーの在り方について考える
H30.8.31	介護支援専門員スキルアップ研修会（事例検討）
10.12	〃
12.5	〃
H31.3.27	〃
H30.9.9	高齢者虐待について
H30.12.11	成年後見制度に関する研修会
H30.10.17	医療的知識習得研修
12.20	〃
H31.1.17	ひきこもり・不登校講演会
H31.1.31	記録に関する研修
H31.2.3	再考 ケアマネジメントの基本

1件1件、ケースに関わる事で、知識の向上になっておりますが、医療も進んでおり、また他の事業所の方と情報交換やその他、研修では学ぶことも多いです。専門職として、資質の向上できるよう、研修の参加は継続していきます。

9. まとめ

民生委員や近隣住民の方の協力があるこの地域の特性を把握し、住み慣れた自宅で生活できるよう、介護者の負担が軽減できるよう支援してきました。利用者実績は目標達成し、地域や他市町からの相談が増えてきています。医療機関、地域包括支援センターとの連携・交流を密に行うことで、積極的に困難ケースを受け入れした成果だと思いません。次年度の目標は、更なる事業所の知名度と信頼度を上げるとともに、専門職としての知識の向上、相談援助技術、人間性の向上に努めていきます。1名増員し3名体制で、100名の利用者の確保を目指していきます。主任介護支援専門員を資格がありますので、特定事業所加算も取得できます。地域の実情を把握して、利用者のニーズを引き出せるかが課題を引き出し、介護を必要としている高齢者(要支援・要介護者)または、その家族等の身近な相談窓口としての役割を担っていきたく思います。

令和元年は「笑門来福」という目標をかかげ、皆様が笑顔で幸せに暮していけるよう、地域住民や利用者や家族、サービス提供事業者や関係機関との信頼関係構築を図る事を継続していきます。